

日本福祉大学看護学部授業科目履修規程

第1章 総則

(目的)

第1条 日本福祉大学看護学部（以下、「本学部」という。）の授業科目の履修及びこれに関する事項は、日本福祉大学学則（以下、「学則」という。）によるほか、この規程の定めるところによる。

第2章 卒業・進級条件

(卒業条件)

第2条 本学部を卒業するためには、4年以上在学するとともに第4学年を修了した上で、別表1に定める所定の単位を含め124単位以上を修得しなければならない。

2 全学教育センター科目は、別表2のとおり総合基礎科目として、卒業単位に算入する。

3 前項の卒業要件を満たして卒業を許可された学生が、卒業延期を希望する場合は、学部教授会の決定により1年間に限り卒業を延期することができる。

(進級条件)

第3条 第3学年に進級するためには、別表3に定める進級条件を満たさなければならない。

第3章 授業科目と履修方法

(授業科目の種類)

第4条 本学部の授業科目、単位および配当学年は別表4の通りとする。

(履修方法)

第5条 各科目の履修方法は別表4の通りとする。

(資格取得)

第6条 本学部は看護師学校として文部科学省の指定を受け、卒業要件を満たすことにより看護師国家試験受験資格を取得することができる。

2 保健師国家試験受験資格を取得するためには別に定める履修規程に基づき履修しなければならない。

第4章 履修登録

(履修登録)

第7条 授業科目を履修し単位を取得するためには、毎学年の年度当初の所定の期間に履修登録をしなければならない。

- 2 前項にかかわらず、後期の所定の期間に年間履修単位数の範囲内において履修登録の修正を行えるものとする。ただし、通年開講科目の履修登録の修正は行えないものとする。
- 3 後期復学生及び年度当初に履修登録を行わなかった者は、前項の期間において後期開講科目に限り履修登録を行えるものとする。
- 4 病気及びその他やむを得ない理由により、所定の期間に履修登録ができない場合は、直ちに届け出て指示を受けなければならない。

(クラス登録)

第8条 履修登録に先立ちクラス登録を必要とする科目は別表5の通りとする。クラス登録を行わない場合は履修登録ができない。

(年間履修単位)

第9条 学年ごとの履修登録単位数の上限は別表6の通りとする。

(履修の制限)

第10条 既に単位を修得した科目と同一又は類似とみなされる科目は履修することができない。

- 2 上級学年配当科目は履修することができない。
- 3 同一時限に同時に開講される複数の科目を履修することはできない。
- 4 科目により履修者の制限をすることがある。その場合は、毎年度、具体的に明示する。

(再履修登録)

第11条 授業科目を再履修登録し単位を取得するためには、年度当初の所定の期間に履修登録をしなければならない。

- 2 授業科目の再履修登録は、標準修業年限内に必ず保証するものではない。
- 3 年度途中、再履修登録した授業科目がやむを得ない事情で授業の日程に変更が生じた場合、その際の機会保障は行わない。
- 4 再履修登録を許可する学年・学期は別表7の通りとする。

第5章 他学部開講科目の履修

(履修の許可・範囲・条件)

第12条 所属学部以外の学部が開講されている授業科目は、第2学年次より履修することができる。また、当該科目が開講されている学部の配当年次に従う。なお、履修可能な科目については、毎年度、提示する。

- 2 所属学部が開講されている科目と同一とみなされる授業科目は履修することができない。
- 3 他のキャンパスで開講される科目は、学部が履修を認めた科目を除き、履修することができない。
- 4 施設等の条件により、所属学部以外の学生の履修を制限することがある。
- 5 資格課程に開設された資格科目を履修する場合は、当該資格課程登録者のみが履修することができる。

(修得可能単位数)

第13条 前条により修得できる単位は、在学中20単位を限度として卒業単位に算入する。

第6章 留年生・復学・再入学生の履修条件

(留年生の履修条件)

第14条 留年した者の履修条件は、留年後所属した学年の履修条件による。

- 2 留年した者の進級資格審査は年度末とし、年度途中の進級措置は行わない。
- 3 第4学年に留年した者が、前期終了後に卒業条件を充足した場合、本人の申し出により前期卒業を認める。

(復学・再入学の履修条件)

第15条 復学及び再入学した者の履修条件は、別に定める「日本福祉大学休学・復学・転学・退学・再入学に関する規程」による。

第7章 授業

(授業の形態)

第16条 本学部における授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により実施するものとする。

- 2 第1項の授業のうち、全講の過半数を教室等において直接教授するものを「対面授業」という。
- 3 第1項の授業のうち、全講の過半数を学則25条に定める「多様なメディアを高度に利用して行う授業」にて教授するものを「メディア授業」という。
- 4 前項にいう「メディア授業」を、次の各号のとおり区分する。
 - (1) 動画像データの視聴及び課題添削と質疑応答等を組み合わせて遠隔で実施する「オンデマンド授業」
 - (2) Webビデオ会議システムを活用して同時双方向に遠隔で実施する「同時双方向型授業」
- 5 授業の形態は、その開講期間に応じて以下の各号のとおり区分する。

- (1) 通常授業は、原則として週1回、通年ないし半期で開講する。時間割は年度始めに発表する。
- (2) 集中授業は、集中授業期間のほか特定の曜日に連続して開講する。集中授業期間、科目及び日程は年度始めに発表する。
- (3) 補講は、休講等やむを得ない事情により授業が予定通り終了しない場合、所定の補講期間に実施する。補講期間は年度始めに発表し、科目及び日程はその都度掲示で発表する。

(授業時間帯)

第17条 授業時間帯は、別に定める「日本福祉大学キャンパス別授業時間及び休講基準を定める規程」による。

(授業の変更)

第18条 年度途中、やむを得ない事情で、授業の日程や教室を変更する場合がある。変更についてはその都度掲示する。

(授業への出席)

第19条 各科目の授業について、「日本福祉大学試験規程」に定める受験資格に必要な出席回数を満たしていない場合は、単位認定試験の受験資格を失う。

- 2 前項にかかわらず、オンデマンド授業については、全講義を受講していない場合は、当該科目の試験について受験資格はないものとする。

第8章 試験及び成績発表

(試験)

第20条 学則第34条に基づく試験については、別に定める「日本福祉大学試験規程」による。

(成績発表)

第21条 成績の発表は、大学の指定する時期に行う。

(成績評価・学修指導)

第22条 成績は次の基準により評価を行い、60点以上を合格とする。

S (100～90点) A (89～80点) B (79～70点) C (69～60点) D (59点以下)

- 2 前項にかかわらず、一部の科目についてはG (合格)、D (不合格) により判定することがある。
- 3 従前の大学・学部等における修得単位の認定は、N (認定) とする。
- 4 出席時間数が日本福祉大学試験規程第7条に該当する場合、オンデマンド授業を全講義受講していない場合及び試験を受験しなかった場合は、K (棄権) とする。
- 5 修得単位数及び学則第36条2項に定めるGPAに照らして、学業不振または学業困難が困難な学生に対して、学部は必要な学修指導または警告を行う。

6 前項に定める学修指導と警告の基準及び手続きは別に定める。

第9章 規程管理

(規程の所管課室)

第23条 本規程の所管課室は、東海事務室とする。

(規程の改廃)

第24条 本規程の改廃は、看護学部教授会の審議結果の進達を受けて、学長が決定する。

附 則

- 1 本規程は、2015年4月1日から施行する。
- 2 本規程は、2016年4月1日から改正施行する。
- 3 本規程は、2017年4月1日から改正施行する。
- 4 本規程は、2019年4月1日から改正施行する。
- 5 本規程は、2020年4月1日から改正施行する。
- 6 本規程は、2021年4月1日から改正施行する。
- 7 本規程は、2022年4月1日から改正施行する。

別表1 卒業条件

授業科目区分	卒業条件
総合基礎科目	必修科目(8単位)を含む16単位以上修得していること
専門基礎科目 専門科目	専門基礎科目および専門科目を合わせて108単位以上修得していること
	総計124単位以上を修得していること

別表2 全学教育センター科目の内、総合基礎科目修得単位数に算入する科目
(2022年度以降入学者)

授業科目名	配当学年	単位	履修方法	
			必修・選択	備考
日本福祉大学の歴史	1	2	○	◆
知多学	1	2	○	◆
ふくしとフィールドワーク	1	2	○	◆
知多半島のふくし	2	2	○	◆
ふくしと減災コミュニティ	2	2	○	◆
ふくしフィールドワーク実践	3	2	○	
福祉社会入門	1	2	○	◆
聴覚障害者の理解と支援	1	1	○	◆
地震と減災社会	1	2	○	◆
福祉の力	2	2	○	◆
ヒューマンケアのための多職種連携	1	2	○	◆

(2019年度～2021年度入学者)

授業科目名	配当学年	単位	履修方法	
			必修・選択	備考
日本福祉大学の歴史	1	2	○	◆
知多学	1	2	○	◆
ふくしとフィールドワーク	1	2	○	◆
知多半島のふくし	2	2	○	◆
ふくしと減災コミュニティ	2	2	○	◆
ふくしフィールドワーク実践	3	2	○	
福祉社会入門	1	2	○	◆
聴覚障害者の理解と支援	1	1	○	◆

地震と減災社会	1	2	○	◆
福祉の力	2	2	○	◆
ヒューマンケアのための多職種連携	1	2	○	◆

(2018年度以前入学者)

授業科目名	配当学年	単位	履修方法	
			必修・選択	備考
日本福祉大学の歴史	1	2	○	◆
知多学	1	2	○	◆
ふくしとフィールドワーク	1	2	○	◆
ふくしと減災コミュニティ	2	2	○	◆
福祉社会入門	1	2	○	◆
聴覚障害者の理解と支援	1	1	○	◆
地震と減災社会	1	2	○	◆
福祉の力	2	2	○	◆

「履修方法」「必修・選択および備考」欄

- ：必修科目
- ：選択科目
- ◆：メディア授業

別表3 進級条件

学年	進級条件
第3学年への進級条件	<p>■以下の科目の単位を全て取得していること</p> <p>「基礎看護学実習Ⅰ」(1単位)</p> <p>「基礎看護学実習Ⅱ」(2単位)</p> <p>■第1学年および第2学年の必修科目の内、未取得単位が4単位以下であること</p>

別表4 開講科目表

看護学部看護学科

(2022年度以降入学者)

①総合基礎科目

授業科目名	配当学年	単位	履修方法	
			必修・選択	備考

英語コミュニケーションⅠ	1	1	●	クラス指定科目
英語コミュニケーションⅡ	1	1	●	クラス指定科目
英語コミュニケーションⅢ	1	1	●	クラス指定科目
英語コミュニケーションⅣ	1	1	●	クラス指定科目
基礎ゼミナールⅠ	1	1	●	クラス指定科目
基礎ゼミナールⅡ	1	1	●	クラス指定科目
化学	1	2	●	
情報処理演習	1	2	○	全員履修科目 クラス指定科目
健康・スポーツⅠ	1	1	○	クラス登録科目
健康・スポーツⅡ	1	1	○	クラス登録科目
日本の歴史	1	4	○	◆
心理学	1	2	○	
政治学	1	2	○	
哲学	1	2	○	
グローバル教養	1	2	○	
異文化理解	1	2	○	
法と社会(日本国憲法)	1	4	○	
社会学	1	2	○	

②専門基礎科目

授業科目名	配当学年	単位	履修方法	
			必修・選択	備考
人間の形態と機能Ⅰ	1	2	●	
人間の形態と機能Ⅱ	1	1	●	
生化学	1	1	●	
微生物学	1	1	●	
人間工学	1	1	●	
ストレス心理学	1	1	●	
人間関係論	1	1	●	
病理学	1	1	●	
疾病論(内科系)	2	2	●	
疾病論(外科系)	2	2	●	
疾病論(小児系)	2	1	●	
疾病論(母性系)	2	1	●	
疾病論(精神系)	1	1	●	

臨床薬理学	2	1	●	
臨床検査学	2	1	●	
臨床栄養学	2	1	●	
健康管理学	1	2	●	
保健行動論	2	2	●	
公衆衛生学	2	2	●	
社会福祉学	1	2	●	
家族社会学	1	2	●	
疫学	2	2	●	
保健医療福祉政策論	2	2	●	
保健医療統計学	2	1	●	
老年学	2	1	○	全員履修科目

③専門科目

授業科目名	配当学年	単位	履修方法	
			必修・選択	備考
看護学概論(概念・理論・歴史)	1	2	●	
看護管理概論Ⅰ	1	1	●	
看護管理概論Ⅱ	4	1	●	
看護倫理	1	1	●	
災害看護	2	1	●	
看護過程演習	2	1	●	
看護技術演習Ⅰ	1	2	●	
看護技術演習Ⅱ	1	1	●	
看護技術演習Ⅲ	2	1	●	
看護技術演習Ⅳ	2	1	●	
基礎看護学実習Ⅰ	1	1	●	
基礎看護学実習Ⅱ	2	2	●	履修要件:看護技術演習Ⅰおよび看護技術演習Ⅱの単位が修得済みであること。また、看護技術演習Ⅲおよび看護技術演習Ⅳで修得する技術評価項目を満たすとともに、期末試験の受験資格を有していること
成人看護学概論	2	2	●	
成人慢性期看護方法論	3	2	●	
成人急性期看護方法論	3	2	●	
老年看護学概論	2	2	●	

老年看護方法論	3	2	●	
小児看護学概論	2	2	●	
小児看護方法論	3	2	●	
母性看護学概論	2	2	●	
母性看護方法論	3	2	●	
精神看護学概論	2	2	●	
精神看護方法論	3	2	●	
慢性期看護学実習	3～4	3	●	
急性期看護学実習	3～4	3	●	
地域看護学実習	2	1	●	
老年看護学実習Ⅰ	3	1	●	
老年看護学実習Ⅱ	3～4	2	●	
小児看護学実習	3～4	2	●	
母性看護学実習	3～4	2	●	
精神看護学実習	3～4	2	●	
在宅看護論	2	2	●	
在宅看護方法論	3	2	●	
在宅看護論実習	3～4	2	●	
地域看護学概論	2	1	●	
公衆衛生看護学概論	2	1	●	
公衆衛生看護方法論Ⅰ	2	2	●	
看護学研究方法論	3	1	●	
卒業研究Ⅰ	3	1	●	クラス登録科目
卒業研究Ⅱ	4	1	●	クラス登録科目
看護統合実習	4	2	●	クラス登録科目
多職種連携論	2	1	●	
看護感染論	4	2	○	左記の科目のうち4単位以上選択
看護教育論	4	2	○	
緩和ケア論	4	2	○	
リハビリテーション看護論	4	2	○	
国際看護論	2	2	○	左記の科目のうち1単位選択
家族看護論	4	2	○	
統合看護基礎技術演習	4	1	○	
チーム医療連携演習	4	1	○	
国際保健演習	4	1	○	
多職種連携実践論	2	1	○	

公衆衛生看護方法論Ⅱ	4	2	○	
公衆衛生看護方法論Ⅲ	4	2	○	
公衆衛生看護方法論Ⅳ	4	1	○	
公衆衛生看護管理活動論	4	2	○	
保健医療福祉政策論演習	4	2	○	
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4	3	○	
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4	2	○	

(2019年度～2021年度入学者)

①総合基礎科目

授業科目名	配当学年	単位	履修方法	
			必修・選択	備考
英語コミュニケーションⅠ	1	1	●	クラス指定科目
英語コミュニケーションⅡ	1	1	●	クラス指定科目
英語コミュニケーションⅢ	1	1	●	クラス指定科目
英語コミュニケーションⅣ	1	1	●	クラス指定科目
基礎ゼミナールⅠ	1	1	●	クラス指定科目
基礎ゼミナールⅡ	1	1	●	クラス指定科目
化学	1	2	●	
情報処理演習	1	2	○	全員履修科目
健康・スポーツⅠ	1	1	○	クラス登録科目
健康・スポーツⅡ	1	1	○	クラス登録科目
日本の歴史	1	4	○	◆
心理学	1	2	○	
政治学	1	2	○	
哲学	1	2	○	
グローバル教養	1	2	○	
異文化理解	1	2	○	
法と社会(日本国憲法)	1	4	○	
社会学	1	2	○	

②専門基礎科目

授業科目名	配当学年	単位	履修方法	
			必修・選択	備考
人間の形態と機能Ⅰ	1	2	●	
人間の形態と機能Ⅱ	1	1	●	
生化学	1	1	●	
微生物学	1	1	●	
人間工学	1	1	●	
ストレス心理学	1	1	●	
人間関係論	1	1	●	
病理学	1	1	●	
疾病論(内科系)	2	2	●	
疾病論(外科系)	2	2	●	
疾病論(小児系)	2	1	●	
疾病論(母性系)	2	1	●	
疾病論(精神系)	1	1	●	
臨床薬理学	2	1	●	
臨床検査学	2	1	●	
臨床栄養学	2	1	●	
健康管理学	1	2	●	
保健行動論	2	2	●	
公衆衛生学	2	2	●	
社会福祉学	1	2	●	
家族社会学	1	2	●	
疫学	2	2	●	
保健医療福祉政策論	2	2	●	
保健医療統計学	2	1	●	
老年学	2	1	○	全員履修科目

③専門科目

授業科目名	配当学年	単位	履修方法	
			必修・選択	備考
看護学概論(概念・理論・歴史)	1	2	●	
看護管理概論	4	2	●	
看護倫理	1	1	●	
災害看護	2	1	●	

看護過程演習	2	1	●	履修要件:看護技術演習 I の単位が修得済みであること 履修要件:看護技術演習 I の単位が修得済みであること。また、看護技術演習 II および看護技術演習 III で修得する技術評価項目を満たすとともに、期末試験の受験資格を有していること
看護技術演習 I	1	2	●	
看護技術演習 II	1~2	2	●	
看護技術演習 III	2	1	●	
基礎看護学実習 I	1	1	●	
基礎看護学実習 II	2	2	●	
成人看護学概論	2	2	●	
成人慢性期看護方法論	3	2	●	
成人急性期看護方法論	3	2	●	
老年看護学概論	2	2	●	
老年看護方法論	3	2	●	
小児看護学概論	2	2	●	
小児看護方法論	3	2	●	
母性看護学概論	2	2	●	
母性看護方法論	3	2	●	
精神看護学概論	2	2	●	
精神看護方法論	3	2	●	
成人看護学慢性期実習	3~4	3	●	
成人看護学急性期実習	3~4	3	●	
老年看護学実習 I	2	1	●	
老年看護学実習 II	3	1	●	
老年看護学実習 III	3~4	2	●	
小児看護学実習	3~4	2	●	
母性看護学実習	3~4	2	●	
精神看護学実習	3~4	2	●	
在宅看護論	2	2	●	
在宅看護方法論	3	2	●	
在宅看護論実習	3~4	2	●	
公衆衛生看護学概論	2	2	●	
公衆衛生看護方法論 I	2	2	●	
看護学研究方法論	3	1	●	
卒業研究 I	3	1	●	クラス登録科目

卒業研究Ⅱ	4	1	●	クラス登録科目
看護統合実習	4	2	●	クラス登録科目
多職種連携論	2	1	●	
看護感染論	4	2	○	左記の科目のうち4単 位以上選択
看護教育論	4	2	○	
緩和ケア論	4	2	○	
リハビリテーション看護論	4	2	○	
国際看護論	2	2	○	
家族看護論	4	2	○	
統合看護基礎技術演習	4	1	○	左記の科目 のうち1単 位選択
チーム医療連携演習	4	1	○	
国際保健演習	4	1	○	
多職種連携実践論	2	1	○	
公衆衛生看護方法論Ⅱ	4	2	○	
公衆衛生看護方法論Ⅲ	4	2	○	
公衆衛生看護管理活動論	4	2	○	
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4	3	○	
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4	2	○	

(2018年度以前入学者)

①総合基礎科目

授業科目名	配当学年	単位	履修方法	
			必修・選択	備考
英語コミュニケーションⅠ	1	1	●	クラス指定科目
英語コミュニケーションⅡ	1	1	●	クラス指定科目
英語コミュニケーションⅢ	1	1	●	クラス指定科目
英語コミュニケーションⅣ	1	1	●	クラス指定科目
基礎ゼミナールⅠ	1	1	●	クラス指定科目
基礎ゼミナールⅡ	1	1	●	クラス指定科目
化学	1	2	●	
情報処理演習	1	2	○	クラス指定科目
健康・スポーツ	1	1	○	クラス登録科目
日本の歴史	1	4	○	◆
心理学	1	2	○	
政治学	1	2	○	
哲学	1	2	○	

グローバル教養	1	2	○	
異文化理解	1	2	○	
法と社会 (日本国憲法)	1	4	○	
社会学	1	2	○	

②専門基礎科目

授業科目名	配当学年	単位	履修方法	
			必修・選択	備考
人間の形態と機能 I	1	2	●	
人間の形態と機能 II	1	1	●	
生化学	1	1	●	
微生物学	1	1	●	
人間工学	1	1	●	
ストレス心理学	1	1	●	
人間関係論	1	1	●	
病理学	1	1	●	
疾病論 (内科系)	2	2	●	
疾病論 (外科系)	2	2	●	
疾病論 (小児系)	2	1	●	
疾病論 (母性系)	2	1	●	
疾病論 (精神系)	2	1	●	
臨床薬理学	2	1	●	
臨床検査学	2	1	●	
臨床栄養学	2	1	●	
健康管理学	1	2	●	
保健行動論	2	2	●	
公衆衛生学	2	2	●	
社会福祉学	1	2	●	
家族社会学	1	2	●	
疫学	2	2	●	
保健医療福祉政策論	2	2	●	
保健医療統計学	2	1	●	

③専門科目

授業科目名	配当学年	単位	履修方法	
			必修・選択	備考
看護学概論(概念・理論・歴史)	1	2	●	
看護管理概論	4	2	●	
看護倫理	2	1	●	
災害看護	4	1	●	
看護過程演習	2	1	●	
看護技術演習Ⅰ	1	2	●	
看護技術演習Ⅱ	2	2	●	
看護技術演習Ⅲ	2	1	●	
基礎看護学実習Ⅰ	1	1	●	
基礎看護学実習Ⅱ	2	2	●	
成人看護学概論	2	2	●	
成人慢性期看護方法論	3	2	●	
成人急性期看護方法論	3	2	●	
老年看護学概論	2	2	●	
老年看護方法論	3	2	●	
小児看護学概論	2	2	●	
小児看護方法論	3	2	●	
母性看護学概論	2	2	●	
母性看護方法論	3	2	●	
精神看護学概論	2	2	●	
精神看護方法論	3	2	●	
成人看護学慢性期実習	3~4	3	●	
成人看護学急性期実習	3~4	3	●	
老年看護学実習Ⅰ	2	1	●	
老年看護学実習Ⅱ	3	1	●	
老年看護学実習Ⅲ	3~4	2	●	
小児看護学実習	3~4	2	●	
母性看護学実習	3~4	2	●	
精神看護学実習	3~4	2	●	
在宅看護論	2	2	●	
在宅看護方法論	3	2	●	
在宅看護論実習	3~4	2	●	
公衆衛生看護学概論	2	2	●	

公衆衛生看護方法論Ⅰ	3	2	●	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">クラス登録科目</div> <div style="margin-bottom: 10px;">クラス登録科目</div> <div style="margin-bottom: 10px;">クラス登録科目</div> <div style="margin-bottom: 10px;">左記の科目のうち4単 位以上選択</div> <div style="margin-bottom: 10px;">左記の科目 のうち1単 位選択</div> </div>
看護学研究方法論	3	1	●	
卒業研究Ⅰ	3	1	●	
卒業研究Ⅱ	4	1	●	
看護統合実習	4	2	●	
多職種連携論	2	1	●	
看護感染論	4	2	○	
看護教育論	4	2	○	
緩和ケア論	4	2	○	
リハビリテーション看護論	4	2	○	
国際看護論	4	2	○	
家族看護論	4	2	○	
統合看護基礎技術演習	4	1	○	
チーム医療連携演習	4	1	○	
国際保健演習	4	1	○	
公衆衛生看護方法論Ⅱ	4	2	○	
公衆衛生看護方法論Ⅲ	4	2	○	
公衆衛生看護管理活動論	4	2	○	
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4	3	○	
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4	2	○	

「履修方法」「必修・選択」欄

●：必修科目

○：選択科目

「履修方法」「備考」欄

クラス登録科目：クラス登録が必要な科目（クラス登録をしないと履修出来ない科目）

クラス指定科目：大学がクラスを指定する科目

全員履修科目：全員が履修登録する科目

◆：メディア授業

別表5 クラス登録科目

(2022年度以降入学者)

健康・スポーツⅠ、健康・スポーツⅡ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、看護統合実習、統合看護基礎技術演習、チーム医療連携演習、国際保健演習
--

(2019年度～2021年度入学者)

健康・スポーツⅠ、健康・スポーツⅡ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、看護統合実習、統合看護基礎技術演習、チーム医療連携演習、国際保健演習

(2018年度以前入学者)

健康・スポーツ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、看護統合実習、統合看護基礎技術演習、チーム医療連携演習、国際保健演習

別表6 年間履修単位

第1学年	48単位以内
第2学年	48単位以内
第3学年	48単位以内
第4学年	48単位以内

■上記には、他学部開講科目の履修および単位互換による履修を含む。

別表7 再履修登録を許可する学年・学期

		授業科目の配当学年			
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
所属学年	第1学年	—	—	—	—
	第2学年	前期○ 後期○	—	—	—
	第3学年	前期○ 後期×	前期○ 後期×	—	—
	第4学年	前期○ 後期○	前期○ 後期○	前期○ 後期○	—

■ただし、配当学年が3～4となっている授業科目は、標準修業年限内の再履修登録を認めない。